

守山まるごと活性化 議事要旨

会議名: 平成30年度 第3回守山学区まるごと活性化プランCプロジェクト会議

日時: 平成30年9月27日(木)午後7時30分から

場所: 守山会館2階 図書室

出席者: 相宮代表、園田副代表、舟橋、竹村、伴野、磯、竹中

出席者(行政): 守山会館 田中館長、臼井

使用資料: 行政懇話会資料、守山まるごと活性化の取り組みについて

議題

1. 地域行政懇話会について
2. 来年度以降の取組について
3. その他

会議要旨

内容

1. 地域行政懇話会(7/31)について

●学区の提出議題に対する市の回答について報告

【意見等】

- ・自治会館の老朽化等への支援について、現行の補助制度では自治会負担が大きい。
- ・梅田町でも立替を検討したが1億円程度かかる見込みで、実施は難しい。
- ・建替えをするなら借り入れするか積立するしかない。
- ・市はこのような事情を分かっただけで制度を改正してほしい。

●懇話会時に市から説明のあった、国県事業の進捗状況について説明

2. 来年度以降の取組について

- ・次年度の予算編成までに、プロジェクトを継続するかどうか意向を固める必要がある。
- ・防災マップについては、道路整備などが進むと随時更新が必要となる等の理由により作成は断念した。
- ・当プロジェクトの取組により、JR東側のことが議会の質問や会派要望で取り上げられたり、市の防災マップに大宝東小学校が避難場所として掲載されたりする等、一定の成果はあった。
- ・自治会館の老朽化等への支援について、JR東側を特区とするなどして制度拡充するような提言書を当プロジェクトの総括として出す案もあったが、提言の実現は難しいようである。

【意見等】

- ・そもそもまるごと活性化自体に数値目標もないし、何をもって活性化なのか未だにわからない。
- ・道路整備などはJR東側でも進んできており、当プロジェクトが始まったところとは状況は変わってきている。
- ・今の時代はいかにして自助・共助を進めるかが問われている。たとえば新設される南部地区地域包括支援センターについて、その運営を地域で担えたのではないかと、それを当プロジェクトで考えるべきだったのではないかと残念に思っている。ただ、今後も継続して集まって、自助・共助については話し合える場は必要ではないか。
- ・当プロジェクトの取組む課題は、これ以上このメンバーでは成果が見えない。自治会長と議員にしっかりJR東側の課題を認識していただき、今後も行政懇話会や議会等を通じて市へ働きかけいただくこととして、このプロジェクトは解散でよいのではないか。

決定事項

- ・当プロジェクトは今年度をもって解散
- ・次回 平成30年11月29日(木)午後7時30分から

次回以降について

- ・行政等の動きについて